

## 受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、「トランスサイエンス未公開株ファンド」は、信託約款の規定に基づき2017年2月21日に繰上償還させていただきました。

当ファンドは、日本国内・海外における成長著しい未上場企業の株式を主要投資対象とし、投資信託財産の中長期的な成長を図ることを目指して運用を行いました。

ここに謹んで設定日以降の運用状況および償還の内容をご報告申し上げます。

今後とも当社商品をご愛顧のほどよろしくお願い申し上げます。

### 第11期末 (2017年2月21日)

償 還 価 額	3,803円10銭
純 資 産 総 額	533百万円
第11期	
騰 落 率	4.7%
分配金(税込み)合計	-円

(注1) 騰落率は分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

(注2) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

(注3) 当報告書における比率は、表示桁未満を四捨五入しております。

- 交付運用報告書は、運用報告書に記載すべき事項のうち重要なものを記載した書面です。その他の内容については、運用報告書(全体版)に記載しております。
- 当ファンドは、投資信託約款において運用報告書(全体版)に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書(全体版)は、右記ホームページにて閲覧・ダウンロードいただけます。
- 運用報告書(全体版)は、受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

<運用報告書(全体版)の閲覧・ダウンロード方法>  
右記URLにアクセス⇒「償還済ファンド一覧」⇒「当該ファンド」の「運用報告書(全体版)」を選択ください。

# トランスサイエンス 未公開株ファンド

単位型投信／国内／株式

## 償還 交付運用報告書 繰上償還

第11期 (償還日2017年2月21日)

作成対象期間 (2016年9月27日～2017年2月21日)

 SBI Asset Management

S B I アセットマネジメント株式会社

〒106-6017 東京都港区六本木1-6-1

お問い合わせ先

電話番号 03-6229-0097

受付時間：営業日の9：00～17：00

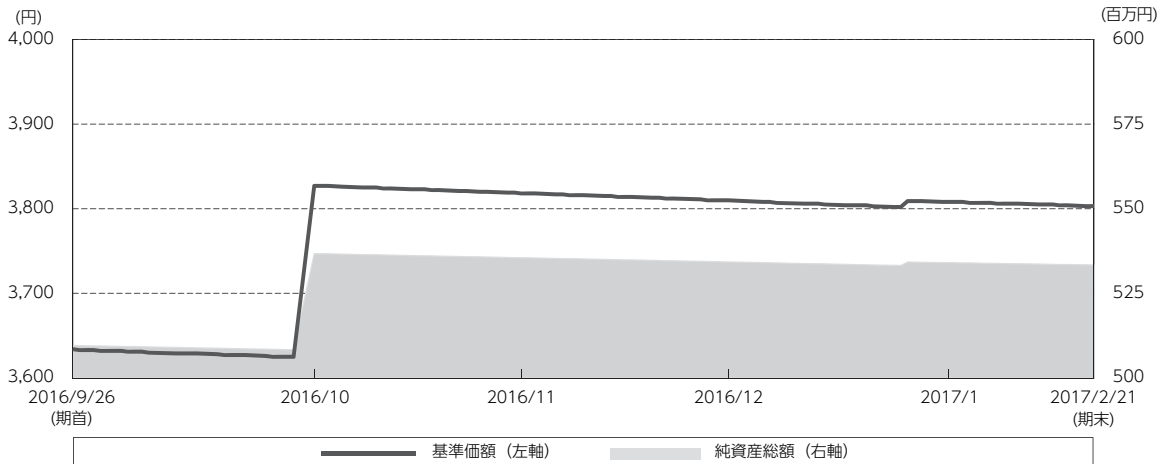
ホームページから、ファンドの商品概要、レポート等をご覧いただけます。

<http://www.sbiasset.com/jp/>

## 運用経過

## 基準価額等の推移

(2016年9月27日～2017年2月21日)



期首：3,634円  
 期末(償還日)：3,803円10銭  
 騰落率：4.7%

(注1) 当ファンドは主にバイオテクノロジー、ヘルスケア・医療領域における未公開会社のうち、レイターステージ（比較的短期間で株式公開等が予想される段階）の未公開会社への株式投資を行い、株式上場やM&A等による値上がり益（キャピタルゲイン）を追求するファンドであり、特定のベンチマーク及び参考指数等は採用していません。

(注2) 当ファンドは、設定日以降分配を行っていないため分配金再投資基準価額は記載していません。

## ○基準価額の主な変動要因

当ファンドの基準価額は、期初は信託報酬等の費用計上により緩やかな下落基調で推移したものの、組合を通じて保有していたSBIバイオテックを売却したことにより、上昇して期末（償還日）を迎えました。当期の基準価額の騰落率は+4.7%の上昇となりました。

## 1 口当たりの費用明細

(2016年9月27日～2017年2月21日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	33 円	0.876 %	(a)信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
( 投 信 会 社 )	(24)	(0.622)	委託した資金の運用の対価
( 販 売 会 社 )	( 8)	(0.219)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
( 受 託 会 社 )	( 1)	(0.035)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) そ の 他 費 用	0	0.002	(b)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
( そ の 他 )	( 0)	(0.002)	信託事務の処理等に要するその他費用
合 計	33	0.878	
期中の平均基準価額は、3,779円です。			

(注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 消費税は報告日の税率を採用しています。

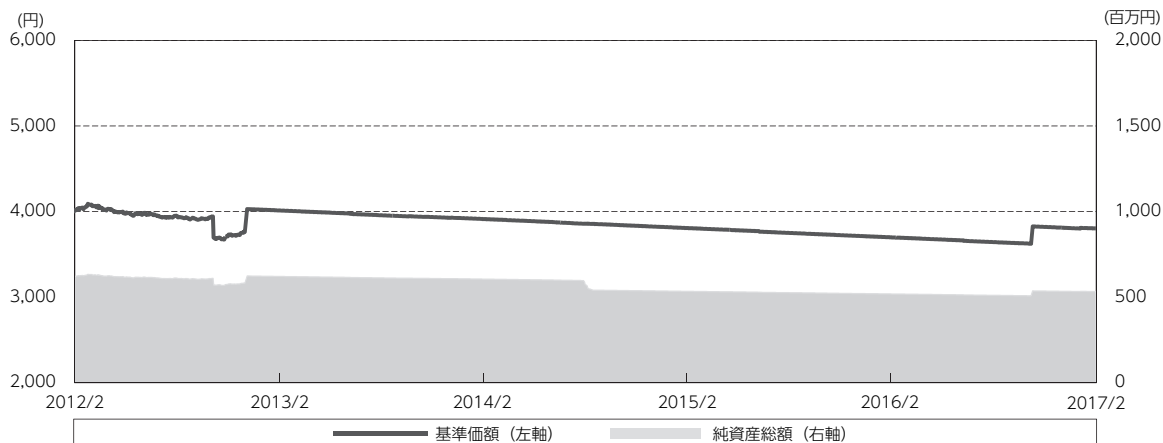
(注3) 項目ごとに円未満は四捨五入しております。

(注4) 各項目の費用は、当ファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）が支払った費用を含みません。

(注5) 各比率は1口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

## 最近5年間の基準価額等の推移

(2012年2月21日～2017年2月21日)



(注) 当ファンドは、設定日以降分配を行っていないため分配金再投資基準価額は記載しておりません。

	2012年9月24日 決算日	2013年9月24日 決算日	2014年9月24日 決算日	2015年9月24日 決算日	2016年9月26日 決算日	2017年2月21日 償還日
基準価額 (円)	3,916	3,948	3,851	3,741	3,634	3,803.10
期間分配金合計 (税込み) (円)	0	0	0	0	0	0
基準価額騰落率 (%)	△ 1.9	0.8	△ 2.5	△ 2.9	△ 2.9	4.7
純資産総額 (百万円)	606	611	540	525	509	533

(注1) 当ファンドは主にバイオテクノロジー、ヘルスケア・医療領域における未公開会社のうち、レイターステージ (比較的短期間で株式公開等が予想される段階) の未公開会社への株式投資を行い、株式上場やM&A等による値上がり益 (キャピタルゲイン) を追求するファンドであり、特定のベンチマーク及び参考指数等は採用しておりません。

(注2) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

(注3) 騰落率は1年前の決算応当日との比較です。

(注4) 2017年2月21日の騰落率は、直前の決算日である2016年9月26日と比較したものを記載しています。

## 設定来の基準価額等の推移

(2006年9月25日～2017年2月21日)



(注1) 当ファンドは主にバイオテクノロジー、ヘルスケア・医療領域における未公開会社のうち、レイターステージ（比較的短期間で株式公開等が予想される段階）の未公開会社への株式投資を行い、株式上場やM&A等による値上がり益（キャピタルゲイン）を追求するファンドであり、特定のベンチマーク及び参考指数等は採用していません。

(注2) 当ファンドは、設定日以降分配を行っていないため分配金再投資基準価額は記載していません。

## ○基準価額の主な変動要因

## 上昇要因

直接投資または組合を通じて組入れた未公開株式の売却益など

## 下落要因

直接投資または組合を通じて組入れた未公開株式の評価損失や売却損失、信託報酬の支払いなど

**設定来の投資環境**

(2006年9月25日～2017年2月21日)

2007年以降の新規株式公開（IPO）市場は、金融商品取引法施行及びその対応に伴う内部統制の強化に加えて、証券取引所の上場審査の厳格化、監査法人の保守的な会計監査などを背景に、上場のハードルが急速に高くなりました。

2008年9月のリーマン・ショックにより、IPO市場における公開企業数が急減するとともに、上場するバイオ関連企業の時価総額も低迷しました。上場バイオベンチャーの時価総額の低迷は、非上場のバイオベンチャー企業の資金調達にも影響を及ぼしました。IPOを出口戦略としていたベンチャーキャピタル等からのリスクマネーの供給が減少する中、研究開発や臨床試験など先行投資が必要なバイオ関連企業は資金調達難に陥りました。特に、リーマン・ショック前後に起きた投資資金の回収加速に伴う資金繰り悪化により、非上場のバイオベンチャーは資金繰りに窮した結果、事業停止や清算を余儀なくされました。

2011年以降は、徐々にIPO市場における公開企業数が増加に転じたものの、バイオ関連企業のIPOは増加がみられませんでした。

2014年以降は、大企業がベンチャー企業に出資するコーポレートベンチャーキャピタルや個人から資金を調達するクラウドファンディングなど資金調達手段が多様化したものの、バイオ関連企業への投資は低迷しました。そのため、新規株式公開（IPO）全体に占めるバイオテクノロジー、ヘルスケア関連企業等の影響は限定的なものとなりました。

**当ファンドのポートフォリオ**

(2006年9月25日～2017年2月21日)

当ファンドは2006年9月25日に設定し、直接投資または組合出資を通じた間接投資により、国内外のバイオテクノロジー、ヘルスケア・医療領域における未公開株式8銘柄を組入れて運用を行いました。

**【第1期】（2006年9月～2007年9月）**

2006年9月に「アールアンドアール株式会社」（代表者 松石 哲郎）に2億3,991万円、「株式会社日本メディカル総研」（代表者 福島 芳己）に4億5,240万円の投資を実行しました。また、同年11月に「株式会社フューエンス」（代表者 井上 浩三）に7,995万円の投資を実行しました。

2007年2月に「株式会社ペプタイドドア」（代表者 鈴木 正嗣）に1,500万円、「テムリック株式会社」（代表者 稲垣 哲也）に1億3万円の投資を実行しました。また、同年3月に「株式会社オキシジェニクス」（代表者 大村孝男）に8,000万円、「メビオファーム株式会社」（代表者 藤澤 忠司）に7,500万円の投資を実行しました。

**【第2期】（2007年9月～2008年9月）**

2008年3月にTSI 1号投資事業匿名組合に6億7千万円出資を行い、匿名組合経由でクオーク・ファーマシューティカルズを購入しました。

同年5月には日本メディカル総研が全事業を中止し清算に向けた手続きを開始し、株主への残余分配財産がなかったことから、評価を1株3,988円から1円に引き下げ、同年8月に1株1円で全株売却しました。

同年6月にはオキシジェニクスが平成20年6月13日付で東京地方裁判所に対し破産手続の申立てを行い、6月25日に破産手続きが開始されたことから、同社株式を6月27日に1株1円で全株売却しました。

**【第3期】（2008年9月～2009年9月）**

2009年6月23日の臨時株主総会にて、アールアンドアールの清算終了が決議され、清算代金として約730万円を受け取りました。

**【第4期】（2009年9月～2010年9月）**

未公開株式の売買はありませんでした。

**【第5期】（2010年9月～2011年9月）**

メビオファーム株式会社が2011年7月15日にTOKYO AIM市場に新規上場したことから、全株売却しました。

**【第6期】（2011年9月～2012年9月）**

未公開株式の売買はありませんでした。

**【第7期】（2012年9月～2013年9月）**

2012年9月28日にペプタイドドアを全株売却しました。

2012年10月26日にテムリックを全株売却しました。

組合で保有していたクオーク・ファーマシューティカルズの優先株は普通株に転換後、2012年12月のSBIバイオテックによるクオーク・ファーマシューティカルズの完全子会社化に伴い、SBIバイオテックの普通株式に株式交換されました。

**【第8期】（2013年9月～2014年9月）**

2013年10月10日、同年11月11日、同年12月25日の3回に分けてフューエンスを全株売却しました。

**【第9期】（2014年9月～2015年9月）**

未公開株式の売買はありませんでした。

**【第10期】（2015年9月～2016年9月）**

未公開株式の売買はありませんでした。

**【第11期】（2016年9月～2017年2月）**

2016年10月28日に組合で保有していたSBIバイオテックを全株売却しました。

## 当ファンドのベンチマークとの差異

(2016年9月27日～2017年2月21日)

当ファンドは主にバイオテクノロジー、ヘルスケア・医療領域における未公開会社のうち、レイターステージ（比較的短期間で株式公開等が予想される段階）の未公開会社への株式投資を行い、株式上場やM&A等による値上がり益（キャピタルゲイン）を追求するファンドであり、ベンチマーク及び参考指数等は採用しておりません。

## お知らせ

該当事項はありません。

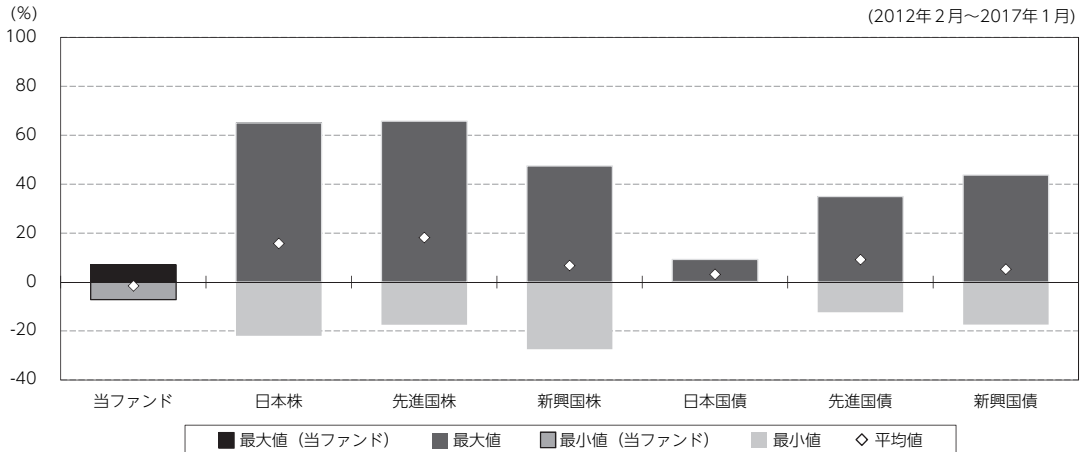
## 当ファンドの概要

商品分類	単位型投信／国内／株式
信託期間	2006年9月25日から 2017年2月21日(繰上償還)まで
運用方針	主にバイオテクノロジー、ヘルスケア・医療領域における未公開会社のうち、レイターステージ（比較的短期間で株式公開等が予想される段階）の未公開会社への株式投資を行い、株式公開やM&A等による値上がり益（キャピタルゲイン）を追求します。
主要投資対象	わが国の未上場株式を主要投資対象とします（投資した未上場株式が公開し、上場株式となったものを含みます）。また、外国の未上場株式に投資することがあります。
運用方法	日本国内・海外における成長著しい未上場企業の株式*を主要投資対象とし、投資信託財産の中長期的な成長を図ることを目的として運用を行います。 ※未上場企業の株式とは、一般社団法人投資信託協会の定める規則により、次のいずれかの要件を満たす株式とします。 (1) 金融商品取引法（昭和23年法律第25号、以下「金商法」という。）第24条の規定に基づき有価証券報告書（金商法第5条に規定する有価証券届出書を含む。）を提出している会社で、当該有価証券報告書に総合意見が適正である旨の監査報告書が添付されている会社の発行するものであること (2) 公認会計士又は監査法人により、会社法（平成17年法律第86号）に基づく監査が行われ、かつ、その総合意見が適正又は適法である旨の監査報告書が添付されている財務諸表等が入手できる会社の発行するものであること (3) 公認会計士又は監査法人により、金商法又は会社法に準ずる監査が行われ、かつ、その総合意見が適正又は適法である旨の監査報告書が添付されている財務諸表等を入手できるものであって、今後も継続的に開示が見込める会社の発行するものであること ※以上の要件は、同規則の変更により、変更する可能性があります。
分配方針	毎決算時に、経費控除後の繰越分を含めた利子・配当等収益および売買益（評価益を含みます）等の金額の範囲から収益分配方針に基づいて分配します。ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行わないことがあります。



## (参考情報)

## ○当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(単位：%)

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	7.0	65.0	65.7	47.4	9.3	34.9	43.7
最小値	△ 7.1	△ 22.0	△ 17.5	△ 27.4	0.5	△ 12.3	△ 17.4
平均値	△ 1.6	15.8	18.2	6.7	3.1	9.2	5.3

(注1) 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注2) 2012年2月から2017年1月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。

(注3) 上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

## 《各資産クラスの指数》

日本株：東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)

先進国株：MSCI - KOKUSAI インデックス (配当込み、円ベース)

新興国株：MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース)

日本国債：NOMURA - BPI国債

先進国債：シティ世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

新興国債：JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット・グローバル・ディバースファイド (円ベース)

※各指数についての説明は、P10の「代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について」をご参照ください。

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

## 当ファンドのデータ

## 組入資産の内容

(2017年2月21日現在)

償還日現在、有価証券等の組入れはありません。

## 投資信託財産運用総括表

信託期間	投資信託契約締結日	2006年9月25日		投資信託契約終了時の状況	
	投資信託契約終了日	2017年2月21日		資産総額	538,016,594円
区分	投資信託契約締結当初	投資信託契約終了時	差引増減または追加信託	負債総額	4,631,593円
				純資産総額	533,385,001円
受益権口数	207,840口	140,250口	△67,590口	受益権口数	140,250口
元本額	2,078,400,000円	1,402,500,000円	△675,900,000円	1口当たり償還金	3,803.10円
毎計算期末の状況					
計算期	元本額	純資産総額	基準価額	1口当たり分配金	
				金額	分配率
第1期	2,077,900,000円	1,906,690,780円	9,176円	0円	0.0000%
第2期	2,077,900,000	1,083,778,105	5,216	0	0.0000
第3期	2,027,900,000	993,094,706	4,897	0	0.0000
第4期	2,026,900,000	874,258,807	4,313	0	0.0000
第5期	1,550,200,000	618,976,412	3,993	0	0.0000
第6期	1,548,200,000	606,221,299	3,916	0	0.0000
第7期	1,548,200,000	611,245,138	3,948	0	0.0000
第8期	1,403,500,000	540,494,579	3,851	0	0.0000
第9期	1,403,500,000	525,096,099	3,741	0	0.0000
第10期	1,402,500,000	509,606,980	3,634	0	0.0000
信託期間中1口当たり総収益金及び年平均収益率				△6,196円90銭	△5.9522%

## 償還金のお知らせ

1口当たり償還金(税込み)	3,803円10銭
---------------	-----------

## <代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について>

騰落率は、データソースが提供する各指数をもとに株式会社野村総合研究所が計算しており、その内容について、信憑性、正確性、完全性、最新性、網羅性、適時性を含む一切の保証を行いません。また、当該騰落率に関連して資産運用または投資判断をした結果生じた損害等、当該騰落率の利用に起因する損害及び一切の問題について、何らの責任も負いません。

### ○東証株価指数（TOPIX）（配当込み）

東証株価指数（TOPIX）（配当込み）は、東京証券取引所第一部に上場している国内普通株式全銘柄を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、TOPIXに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は東京証券取引所に帰属します。

### ○MSCI - KOKUSAI インデックス（配当込み、円ベース）

MSCI - KOKUSAI インデックス（配当込み、円ベース）は、MSCI Inc.が開発した、日本を除く世界の先進国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。

### ○MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）

MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）は、MSCI Inc.が開発した、世界の新興国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。

### ○NOMURA - BPI国債

NOMURA - BPI国債は、野村証券株式会社が発表している日本の国債市場の動向を的確に表すために開発された投資収益指数です。なお、NOMURA - BPI国債に関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、野村証券株式会社に帰属します。

### ○シティ世界国債インデックス（除く日本、円ベース）

シティ世界国債インデックス（除く日本、円ベース）は、Citigroup Index LLCが開発した、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した指数です。なお、シティ世界国債インデックスに関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、Citigroup Index LLCに帰属します。

### ○JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス－エマージング・マーケット・グローバル・ディバーシファイド（円ベース）

JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス－エマージング・マーケット・グローバル・ディバーシファイド（円ベース）は、J.P. Morgan Securities LLCが算出、公表している、新興国が発行する現地通貨建て国債を対象にした指数です。なお、JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス－エマージング・マーケット・グローバル・ディバーシファイドに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、J.P. Morgan Securities LLCに帰属します。